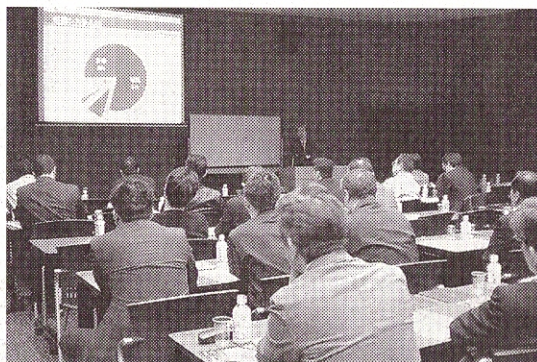


# 工務店の生き残り策や 北方型住宅E C Oなど

新春講演会開催  
画面上  
総合研究所

住宅会社の経営コンサルディングやバーチャル住宅展示場「ままハウス」を運営する向上計画総合研究所（本社・札幌、友村太郎代表）は22日、札幌国際ビルで「あなたには、激変する2010年



の住宅市場が見えていま  
すか？」と題した新春講  
演会を開いた。工務店経  
営者ら約60人が参加。新  
たな施策を通じた生き残

り策や北方型住宅E C O  
について知識を深めた。  
講演会は第1部で北海  
道住宅通信社の野島宏利  
社長が「工務店経営の選

択肢」、第2  
部で道立北方  
建築総合研究  
所の福島明居  
住科学部長が  
「2010年  
の技術潮流と  
北方型住宅の  
今後について」をテーマ  
にそれぞれ講  
演した。

野島氏は住宅版エコポ  
イント制度の概要を解  
説。省エネの基準や工事  
内容のチェック、エコリ  
フォームのポイントなど  
を示した。国のモデル事  
業については「環境（C  
O<sub>2</sub>削減）と高齢者に関  
する事業は、形を変えて  
今後も継続していくだろ  
う」と予測。その上で工  
務店の生き残り策として  
「モデル事業を継続実施  
できる優等生になると同  
時に、一つのモデル事業  
にこだわらない、したた  
かな戦略を立てて臨むこ  
とが必要」と説いた。

E C Oの熱損失係数や気  
密性能、設備使用とエネ  
ルギー消費量の変化、基  
礎断熱と熱容量について  
解説した。また、既存住  
宅の多くは換気設備のメ  
ンテナンス状況が悪く、  
内部の障害、フィルターの  
汚れが何年も放置され  
ている実態を指摘。熱回  
収換気装置の条件とし  
て、①フィルターボックス  
の利用②フィルター付  
き換気口の利用③ダクト  
の簡素化④防虫網は使わ  
ないの4項目を挙げ  
た。

会場では住宅設備・建  
材3社の展示会も開か  
れ、関心を集めていた。